

令和7年度

「運営に関する計画」
(最終評価)

大阪市立靱幼稚園

令和8年3月

大阪市立韮幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- ・本園は都会のビジネス街にあり、ほとんどの子どもたちがマンション住まいである。明治校区、西船場校区、本田校区だけでなく、広範囲から通園していることから、通園の際にも自転車や車を使うなど、歩かずに登園する子どもも多い。また、マンション住まいのため常時エレベーターを使用するなど、日常的に体を動かす機会が乏しい。園内で遊んでいる最中にもすぐに疲労を訴えるなど、体力面での課題がある。
- ・家庭で大切に育てられ、穏やかで人懐こく、親しみをもって大人と関わろうとする子どもが多い。一方で集団の中で落ち着いて話を聞いたり、あいさつを交わしたりなどの社会性の育ちや、基本的な生活習慣の自立について個人差があり、課題がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。
- ・「お子さんは安心して幼稚園に通い、のびのびと生活し自己発揮していますか」
- ・「幼稚園は、避難訓練などを実施し、子どもたちが安全に過ごすことができるように努めていると思いますか」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。
- ・「お子さんは、野菜や草花など自然に関わることを楽しんでますか」
- ・「お子さんは、体を動かして遊ぶことを楽しんでますか」
- ・「幼稚園は教育推進のため、教員の資質向上に努めていると思いますか」
- ・「幼稚園は子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるように努めていると思いますか」

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。
- ・「幼稚園は、140周年記念行事を通し、子どもたちが幼稚園を祝う気持ちや、地域に親しみの気持ちをもてるようにしていると思いますか」
- ・「幼稚園は小学校と連携し、交流活動を工夫していると思いますか」
- ・「幼稚園はホームページやクラスだより・園長室だよりで活動内容を発信していると思いますか」

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

幼稚園の年度目標

○3学期末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。

- ・「おさんは安心して幼稚園に通い、のびのびと生活し自己発揮していますか」
- ・「幼稚園は、避難訓練などを実施し、子どもたちが安全に過ごすことができるように努めていると思いますか」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

幼稚園の年度目標

○3学期末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。

- ・「おさんは、野菜や草花など自然に関わることを楽しんでいませんか」
- ・「おさんは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいませんか」
- ・「幼稚園は教育推進のため、教員の資質向上に努めていると思いますか」
- ・「幼稚園は子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるように努めていると思いますか」

【学びを支える教育環境の充実】

幼稚園の年度目標

○3学期末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。

- ・「幼稚園は、140周年記念行事を通し、子どもたちが幼稚園を祝う気持ちや、地域に親しみの気持ちをもてるようにしていると思いますか」
- ・「幼稚園は小学校と連携し、交流活動を工夫していると思いますか」
- ・「幼稚園はホームページやクラスだより・園長室だよりで活動内容を発信していると思いますか」

3 本年度の自己評価結果の総括

保護者アンケートでは、全ての項目で高い評価を得ることができ、中期目標を達成することができた。

・子どもの実態や援助の仕方について全教職員で共通理解をしたことで、皆が同じ教育的意図をもって関わることができ、見通しをもった援助へとつながった。

・実施日時を決めずに行った抜き打ちの避難訓練は、回を重ねるごとに教師自身が臨機応変に自分の役割を考え動けるようになってきた。

・体力面での課題があったが、子どもの実態や興味に合った活動をすることで、夢中になって体を動かして遊ぶことができた。また、互いの保育を見合ったり話し合ったりし、多面的な視点から子どもの育ちを捉えることができた。

・生活習慣に関するカレンダーを長期休み以外でも配布することで、家庭への啓発を図った。生活習慣を見直すきっかけになったという声もあり、子育て支援につながっている。

・140周年記念行事を実施し、年間を通してお祝いの気持ちをもって過ごしたことで、幼稚園や地域への親しみへとつながった。

大阪市立鞆幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>年度目標</p> <p>○3学期末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お子さんは安心して幼稚園に通い、のびのびと生活し自己発揮していますか」 ・「幼稚園は、避難訓練などを実施し、子どもたちが安全に過ごすことができるように努めていると思いますか」 	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師間の共通理解と協力体制を築き、教育の充実を図る。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの実態を話す機会を月に一回もち、職員間で共通理解し、幼児理解を深める。 	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な非常時を想定した避難訓練の実施方法を工夫する。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練の年間計画を立て、年10回実施し、内容に合わせた教材を準備したり、各地で起きた災害について話したりする。 ・ 避難訓練についてクラスごとに事前に話し合ったり、振り返りをしたりする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【最終】</p> <p>保護者アンケート結果は下記の通りだった。</p> <p>○「お子さんは安心して幼稚園に通い、のびのびと生活し自己発揮していますか」</p> <p>1学期末：98.9% 最終：97.0%</p> <p>○「幼稚園は、避難訓練などを実施し、子どもたちが安全に過ごすことができるように努めていますか」</p> <p>1学期末：98.0% 最終：99.0%</p> <p>① 毎月1回教職員全員集まり、各クラス園児1名を取り上げ、子どもが困っている点や担任の対応の仕方について共通理解した。(9月・12月は実施できなかった。)</p> <p>情報共有することで、他の教職員からも気にかけてもらったり、アドバイスをもらったりするよい機会となった。また、担任自身も1か月の子どもの様子を振り返るよい時</p>	

間となった。子どもを多面的に捉えることができたり、全教職員が子どもに同じようなかかわり方をすることができたりしてよかった。

毎月話し合うことで、子どもたちの1か月の成長や経過がわかりやすかった。現在の子ども様子を伝えるだけでなく、「こうなった時はこういう対応をしている」「こんな様子を見かけたら、こんな対応をしてほしい」ということを伝えることで、連携と共通理解ができた。

担任だけで話すのではなく、他の教員も話すことで、より多くの意見を共有できたり、協力体制を築くことができた。

- ② 避難訓練の年間計画（4月地震、津波による保護者への引き渡し、5月年中長組による火災、6月全園児による火災、8月不審者侵入、9月地震、10月保育園合同による火災、11月預かり保育による火災、12月予告なしの不審者侵入、1月予告なしの地震、津波、2月予告なしの火災）に、沿って計10回実施した。避難訓練後、その都度反省会をし見直しをすることで、教師自身の課題も見え、危険を知らせるために笛を吹くことの難しさも分かった。予告なしの不審者侵入訓練では、保育室ではなく園庭で遊んでいる時に訓練が始まり、子どもを誘導する人、最後尾で確認する人、警察に通報する人などその場で役割を判断し即座に連携をとることができた。臨機応変に動くことの難しさを知り、予告なしの訓練の回数を重ねることで、職員同士話し合うことができ、自分で考えて行動できるようになってきた。

日頃からニュースなどの報道を題材に話し合い、身近で地震や火事が起こった場合どのように避難するかについて、子どもたちと一緒に考える機会を設けた。訓練内容に合わせた紙芝居を読み、園にあるたくさんの本も活用し、避難時の約束事を伝えるようにしている。

今後の改善点

- ① 子どもの実態や援助の方法について話し合う貴重な機会となっている。今後も継続していきたい。時短勤務職員も参加できる時間帯に実施できるよう計画していきたい。
- ② 年間計画通り訓練を行ったが、園長不在想定など、もっといろいろなパターンを想定した訓練を行うべきだった。地震や火災は予告なく発生するので、予告なしの避難訓練は職員や子どもたちがどのように行動するべきかを、身に付けるための大切な機会である。これからも継続し、より非常時に近づけた計画案を立てるようにしていきたい。

(様式2)

大阪市立韮幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 年度目標 ○3学期末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。 ・「お子さんは、野菜や草花など自然に関わることを楽しんでいませんか」 ・「幼稚園は教育推進のため、教員の資質向上に努めていると思いませんか」 ・「幼稚園は子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるように努めていると思いませんか」	A
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向3、幼児教育の推進と質の向上】 ・園内の自然環境を工夫して、植物に関心をもてるようにする。 ・近隣にある韮公園の自然に親しむ活動内容を工夫する。	B
指標 ・栽培の年間計画を立て、学期に1回以上、植物に関心をもつ活動を行う。 ・年に5回以上韮公園に行き、自然に触れて遊んだり四季の移り変わりを楽しんだりする活動を行う。	
取組内容②【基本的な方向3、幼児教育の推進と質の向上】 ・就学前教育カリキュラムを活用し、「知・徳・体」をバランスよく育むことができるよう、教師の資質向上を図る。	A
指標 ・全学年での打ち合わせ、各学年での打ち合わせを毎週1回ずつ行う。 ・園内研究保育・研究協議を年6回行い、教員の資質向上に努める。 ・実践記録の作成、検討を年3回以上行う。	
取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 ・自分の健康に関心をもち基本的な生活習慣が身に付けられるように指導方法を工夫し、家庭との連携を図る。	A
指標 ・子どもの実態に応じた保健指導を学期に2回以上実施する。 ・生活習慣カレンダーを年3回実施する。 ・降園連絡や保護者会、掲示を活用し保護者啓発を学期に1回以上実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【最終】

保護者アンケート結果は下記の通りだった。

- 「お子さんは、野菜や草花など自然に関わることを楽しんでますか」
1学期末：98.9% 最終：97.0%
- 「幼稚園は教育推進のため、教員の資質向上に努めていると思いますか」
1学期末：97.8% 最終：97.0%
- 「幼稚園は子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるように努めていると思いますか」
1学期末：100% 最終：100%

① ・栽培の年間計画を立て、学期に1回以上植物に関心をもつ活動を行うことができた。

- | | | |
|-----|-----|----------------------------|
| 全学年 | 5月 | ふれあい栽培（保護者と共に）夏野菜 |
| | 7月 | 野菜とシソの収穫 |
| | 9月 | ブドウの収穫 |
| | 11月 | カキの収穫 |
| 5歳児 | 4月 | 前年度に植えた野菜の収穫、ヒマワリの種まき |
| | 6月 | マリーゴールドの種まき 植え替え |
| | 10月 | サツマイモ栽培・収穫 |
| | | サニーレタス・スティックブロッコリーの栽培・収穫 |
| | 11月 | チューリップの栽培、ミカンの収穫 |
| 4歳児 | 4月 | ブロッコリーの収穫、アサガオ・フウセンカズラの種まき |
| | 10月 | ミズナ・チマサンチュの栽培・収穫 |
| 3歳児 | 10月 | イチゴ・スティックブロッコリーの栽培 |

年間計画を作成することで、教師が栽培の見通しをもつことができた。また、教師が興味や関心をもって観察すると、子どもたちも一緒に植物や野菜の生長を観察する姿が見られた。育てる野菜の種類を絞ることで、じっくり調べたり、観察したりすることができた。しかし、暑さや肥料の量、日当たりなどの条件によって生長が難しい野菜もあった。改めて、生き物を育てることの難しさや大切さを知る経験となった。4歳児は両野菜とも2回以上、5歳児はそれぞれ2回以上、3歳児は1回収穫を行った。収穫した野菜を弁当に入れて持参する姿が見られ、自分たちで育てたものを食べる喜びやおいしさを実感していた。また、友達の弁当にも同じ野菜が入っていることに気付き、共に育てた経験を共有する姿も見られた。

・鞆公園に1年間に7回行き、自然に触れる活動をする事ができた。

- | | | | | | |
|-----|-------|----------------|------------|-----|------|
| 4月 | 5歳児 | 鞆公園花壇花植え | 4・5歳児お散歩遠足 | 5歳児 | 自然探検 |
| 5月 | 5歳児 | 地域主催バラ園コンサート出演 | | | |
| 10月 | 4・5歳児 | 鞆公園お散歩遠足 | 3歳児お散歩遠足 | | |
| 3月 | 4歳児 | 自然探検 | | | |

地域の自然や季節の移り変わりを体験することができた。また、園内や鞆公園で自分たちのクラスの名前にちなんだ花を見ることもできた。前期と比較すると園外での自然体験は減少したが、園内の自然に目を向ける機会が増えた。園内の梅の開花に子どもが気付く姿が見られるほか、冬の園庭で氷作りを楽しむなど、身近な環境の中で季節の変化を感じている。

- ② ・全学年や各学年の打ち合わせを毎週1回木曜日に行った。
 教職員間で意見を出し合い保育の見通しを持ったり環境の再構成の話し合いをしたりすることで、意見の出しやすい雰囲気になり、保育の連携もよりスムーズにできるようになった。行事前の忙しい時にも、短い時間で内容の濃いものになるよう、意識も変わっていき、毎週の打ち合わせがあることで共通理解ができることや、今後の見通しなどの確認ができることが教員の安心にも繋がった。
- ・園内保育と研究協議を6月、7月、9月、10月、10月、1月の計6回行った。
 自分の保育を多面的に見てもらい助言を得たり、他のクラスの保育を見て声掛けの仕方や保育の方法を学んだりする貴重な機会となった。研究討議では、「夢中になって遊ぶ姿」「幼児の育ち」の視点で話し合った。その内容を「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に分類し、保育内容を討議した。研究保育の様子やその後の研究討議の様子はポートフォリオにして、翌日に保護者が見られるように掲示し情報発信した。
 - ・第3ブロック研究部の主題にそって書いた実践記録の検討会を5月と7月と10月に行った。それぞれの場面での子どもの育ちについて意見を出し合い、皆で学ぶことができた。幼児の育ちについてより深く掘り下げ、幼児の育ちが今後どのようになっているか、小学校への教育にどのように繋がるだろうか、と考える機会にもなった。
- ③ ・年間計画を作成し、保健指導を行うことができた。
- 4月：トイレの使い方（全園児）、手洗い・うがい（年長）
 - 5月：手洗い・うがい（年少・年中）、朝の健康的な生活習慣（年長）
 - 6月：歯みがき（全園児）、プライベートパーツについて（年長）
 - 7月：生活習慣について（全園児）の指導を行った。
 - 8・9月：けがの手当て、予防について（全園児）、プライベートパーツについて（年中）
 - 10月：目の健康について（全園児）
 - 11月：風邪予防について（全園児）
 - 12月：3色栄養について（全園児）
 - 1月：健康な排便について（全園児）
 - 2月：正しい姿勢について（全園児）
 - 3月：1年の振り返り（全園児）、心について（年長・年中）、
 プライベートパーツについて（年少）
- 各学年の発達段階に応じて、伝えることが多くなりすぎないように指導内容を検討した。指導後は、けがをした際に土を洗い流して保健室へ来室する姿が見られるようになった。また、弁当時に様子を見に行き3色の栄養について子どもと話すことで、3色の栄養が入っているか意識し、野菜を入れてもらったことを伝えてくれる姿もあった。
- ・生活習慣カレンダーを2回配布した。
 - 5月：朝の生活習慣について（5歳児）
 - 6月：歯みがきについて（全園児）
 - 7・8月：夏の生活習慣について（全園児）
 - 10月：メディアコントロールウィークについて（全園児）
 - 11月：手洗いについて（全園児）

12・1月：冬休み生活習慣について（全園児）

2月：排便について（全園児）

生活習慣カレンダーを配布し記入してもらうことで、家庭でも指導内容を意識するきっかけとなり、子どもだけでなく、保護者も積極的に取り組んだことが分かった。また、教職員も子どもの実態を知る機会となった。カレンダーの結果から、それぞれ頑張ってもらいたいことをコメントで記入し、返却したり、保護者へ幼稚園での様子を伝え家庭でも続けてほしいことを伝えることができた。

・保護者啓発を行った。

月1回、ほけんだよりを発行、指導教材掲示、生活カレンダーに合わせてホームページの更新を行った。また、終業式の保護者会、降園連絡時には、保健についての情報共有を行った。幼稚園での子どもの様子、生活カレンダーをどうして取り組むのか、近隣小学校での感染状況を伝える注意喚起など、生活習慣だけでなく時期に合わせた保健についての情報を発信することで、保護者に関心をもって聞いてもらうことができた。

今後の改善点

- ① 来年度も栽培の年間計画を作成し、教員自らも興味や関心を持ち、栽培物を育てるようにする。天候や生育状況によって収穫量に差が出ることもあるので、事前の管理や対策の工夫を行ったり、これまで育てたことのある野菜だけでなく、未経験の野菜栽培にも挑戦したりしていく。また、韮公園に2学期、3学期に出かける回数を少し増やし、子ども達が豊かな自然の中で過ごす時間をもつことができるようにする。
- ② 3歳児園内研究保育の際は、3歳児の姿にも「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に繋がる育ちがあることを見出し、記録に取るなどする。
保育を見る視点を教員自身が定め、してみたい保育をアレンジしたり、自発的に取りくんだりして、更なる保育の充実に努める。
- ③ 継続した指導を続けられるよう、生活カレンダー配布を実施したり、個別指導をする。保護者に、園での保健指導にさらに興味をもってもらえるよう啓発方法を工夫する。

大阪市立鞆幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>年度目標</p> <p>○3学期末の保護者アンケートで次の項目について「とても思う・思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園は、140周年記念行事を通し、子どもたちが幼稚園を祝う気持ちや、地域に親しみの気持ちをもてるようにしていると思いますか」 ・「幼稚園は小学校と連携し、交流活動を工夫していると思いますか」 ・「幼稚園はホームページやクラスだより・園長室だよりで活動内容を発信していると思いますか」 	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・140周年記念行事を通し、幼稚園を祝う気持ちや、地域に親しみの気持ちをもつ。 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・140周年記念行事を年に3回以上実施する。 ・140周年記念行事について、保護者や地域に年3回以上発信する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との交流活動を実施し、幼小の滑らかな接続を目指す。 ・教育内容を保護者や地域に発信し、家庭・地域と連携した教育を推進する。 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小交流の年間計画をもとに学期に1回以上実施し、幼小教師間で事前事後の打ち合わせ、振り返りを行う。 ・ホームページやクラスだより、園長室だよりを通して教育内容を発信する。(HPは週に4回以上、クラスだより園長室だよりは2か月に1回) 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【最終】</p> <p>保護者アンケート結果は下記の通りだった。</p> <p>○「幼稚園は、140周年記念行事を通し、子どもたちが幼稚園を祝う気持ちや、地域に親しみの気持ちをもてるようにしていると思いますか。」</p> <p>1学期末：93.5% 最終：100%</p> <p>○「幼稚園はホームページやクラスだより・園長室だよりで活動内容を発信していると思いますか」</p> <p>1学期末：100% 最終：100%</p>	

- ① ・ 1学期に1回、2学期に3回、3学期に1回、140周年記念行事を実施した。

5月「親子で遊ぼう」

「おめでとう140」（「おめでとうを100回」の替え歌）の曲で、親子で一緒にダンスした。年長児が考えたダンスの振りを年中少児にも教えてくれ、何度も踊ったことで、「おめでとう140」の曲やダンスに親しみをもつことができ、創立140周年ということに関心をもつことができた。

10月「140周年記念運動会」

ここ数年毎年運動会で行われているウツボレンジャーのショー、今年は創立140周年記念バージョン、地域の方々に見守られて140年歴史が続いてきたことを保護者にも知ってもらうことができた。

親子競技では、花で140の文字を作ったり、ケーキの上にいちごとろうそくを飾ったりして、みんなで140周年のお祝いをすることができた。

10月「ウォールペインティング」

創立140周年記念壁画に、園児が1人1本ずつ木に色を塗った。地域の方にも親しみをもってもらっている壁画なので、地域への発信にもなっている。

- ・ 上記の取り組みに保護者に参加してもらったり、クラスだよりや園長室だより、ホームページなどで情報発信した。

12月「140周年記念式典リハーサル」

- ・ 式典には参加しない保護者に見てもらう機会となり、また、子どもにとっても大勢の前で見てもらうことで自信や意欲につながった。

1月「140周年記念式典」

- ・ この日に向けて、子ども達は歌を歌ったり言葉を言ったりして、お祝いの気持ちを高めてきた。140年の幼稚園の歴史を当時の写真を見ながら振り返り、積み重ねてきた歴史の重みとともに、地域の中の幼稚園だということを実感した。当日は晴天の下、来賓や保護者の方々と一緒に、子ども達が描いた風船を空に飛ばし、お祝いの気持ちを盛り上げることができた。

年間を通して、記念行事を実施したり、園内の様々な場所に周年に関する写真等を掲示したりすることで、1年間に渡りお祝いの気持ちをもって過ごすことができた。140年の歴史の重みが、保護者や子ども達にも伝わったのではないかな。

- ② ・ 幼小交流を年4回実施した。

7月 西船場小学校6年生と5歳児の交流（プールでの交流）

12月 西船場小学校5年生と5歳児の交流（手作りおもちゃで遊ぶ）

2月 西船場小学校1年生と5歳児の交流（学校体験）

2月 明治小学校1年生と5歳児の交流（給食参観）

事前打ち合わせでは、どのような交流内容にするか、配慮を必要とする子どもがいるかなどについて話し合い、当日の活動をスムーズにできるようにした。

事後の振り返りでは、幼稚園からは「最初は緊張していたが、お兄さんお姉さんが優しく接してくれたことで少しずつ気持ちがほぐれ、憧れの気持ちや親しみを感じることができた」「給食が食べられるか心配している子どももいたが、実際に給食を食べている場面を見ることで安心感につながった」、小学校からは「進級後、一緒に活動できることを楽しみにしている」「次学年への期待が高まりとても楽しい時間となった」という意見があった。子ども同士だけでなく、教師間の連携も大切にし、互いを知り理解する機会となった。

- ・ホームページを週4日以上、クラスだよりは2カ月に1回・園長室だよりは毎月1回発行している。私物スマホでの撮影が一切禁止となり、個人情報保護のための顔モザイクの操作に時間がかかるので、更新頻度を保つのが少々大変ではあるが、引き続き教育内容の発信に努めていく。12月には「年間の主な行事」「一時預かり事業について」「施設・標準服紹介」など、項目を増やし、写真をつけて紹介し、見学に来なくても園の様子を知ってもらうことができるようにした。

今後の改善点

① 今後も、子ども達が幼稚園での思い出や地域への親しみの気持ちをもちながら育っていきけるように、活動を工夫していきたい。

② 年度当初に小学校の先生と打ち合わせをする時に、それぞれの時期に園児に経験させたことを具体的に伝え、交流活動内容を検討する際の参考にしてもらうようにしたい。小学校に関連する絵本を見たり、小学校について話を聞いたりして、疑問に思ったことを小学生に質問できるよう事前事後の工夫をすれば、なおよい活動になるのではないかと。

ホームページは入園を考えている方が最初に目を通してくれるので、地域の方に保育内容を知ってもらえるように更新頻度を保つ。毎週1回の保育打ち合わせの際、更新日や担当を確認し合うことで、忘れないようにする。個人情報保護のための顔モザイク処理が大変なので、掲載用の写真をとるときは、顔ができるだけアップで映らないような画角で撮影する。